

戦争法廃止署名1200万人を突破

市民と野党が共同、憲法集会に5万人

2千万筆目指し6月いっぱい継続

今年の5月3日憲法記念日は全国で、戦争国家、独裁国家へ突き進む安倍政権と、憲法を守り立憲主義を取り戻す市民と野党、この二つの潮流の対決の日になりました。東京有明の防災公園の憲法集会には5万人の市民が結集しました。この集会は昨年続き「総がかり」で行う統一行動。壇上にも「安倍改憲許す

さらには野党代表は「9条」(小沢一郎生活の党代表)をパレードしました。

の本丸に切り込み限定のない集団的自衛権の行使をやり抜くという安倍首相の魂胆を力合わせ阻止しよう」(岡田克也民進党代表)、「戦後かつてない市民運動が発展し、それに背中を押されて野党共闘が前進していることは日本の未来にとって大きな希望」(志位和夫共産党委員長)、「衆院選でも候補者一本化に努力したい」(吉田忠智社民党党首)、「4党と市民が協力して選挙戦に勝ち抜こう」(小沢一郎生活の党代表)と訴えました。

行動提起の中で実行委員会の福山真劫さんが「200万署名」が1200万人を突破したことを報告、19日に提出行動を行い、さらに署名を6月いっぱいまで継続すること発言しました。

7月参院選 野党統一候補 26選挙区に

7月の参院選が迫ってきました。「戦争法廃止」「立憲主義回復」「野党は共闘」という市民の声が政治を動かす、32ある一人区で野党統一候補が次々と決まっています。14日現在で、下記の26選挙区で統一が実現しています。



「戦争法を許さない」実行委員会旗を立て5・3憲法集会に参加



「戦争法廃止」「安倍政権退陣」「憲法を守れ」のプラカードをいっせいに掲げる



憲法集会の壇上で手を取る民進、共産、社民、生活の各党党首

青森、秋田、宮城、山形、福島、栃木、群馬、山梨、長野、新潟、石川、富山、福井、岐阜、滋賀、岡山、山口、鳥取・島根、愛媛、徳島・高知、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄。

「30日行動」6月もやります
(6月3日正午、登戸駅デッキに集合)

市民と野党の共闘 多摩区でも進む

4・28つどいで4党がっちり

3大学、シールズ、ママの会などトーク

4月28日、「戦争させない・憲法こわすな！多摩区をつどい」で多摩市民館大会議室をぎっしり埋めた参加者の熱気は、最後に安保法制の廃止を求めて共闘する民進、共産、社民、生活の4党代表が舞台上でしつかり手をつなぐと、指笛も混じった大歓声で、最高潮に達しました。多摩区ではじめて、4野党共闘が姿を見せた瞬間です。

集いは、日本のマスコミが政府を批判できない構造を鋭くついた上杉隆氏の記念講演で始まりました。続いて、専修大学、日本女子大学、明治大学と多摩区にある三つの大学の教授らが学内外での安保法制に反対する運動の

発展などを語り、「オペラシアターこんにゃく座」、「劇団青年座（有志）」と、多摩区内の二つの劇団がピアノ、歌、朗読など披露し喝采を浴びました。ママの会、SEAL Ds、ミナカナ川崎、すげ九条の会、戦争法を許さない多摩区実行委員会がリレートーク。この「つどい」は、「戦争法を許さない多摩区実行委員会」も参加する多くの団体による「たま憲法連絡会」が主催した憲法記念日の行事のひとつで、今年の5月3日は東京・有明防災公園での大集会の参加と、地元多摩区での集会・パレードを行うので、前倒しして「つどい」を開いたもの。

日本の岐路になる7月の参議院議員選挙に向けて、多摩区でも、勝利に向けての共闘の輪が広がりつつあります。

5・3多摩区内集会・パレード

憲法記念日の5月3日、多くの市民が有明の憲法集会へ参加しましたが、多摩区でも集会、パレードが行われ、のべ160人が参加しました。登戸第一公園での集会では共産党から斉藤たかし市議、生活の党から樋高剛元衆院議員が発言、民進党の露木明美市議がメッセージを寄せました。



多摩区の集いで壇上で手をつなぐ4野党の代表



180人の熱気あふれた多摩区をつどい



講演する上杉隆氏



5・3集会で挨拶する斉藤市議と樋高元衆院議員



「憲法守ろう」を元気にアピールした多摩区パレード